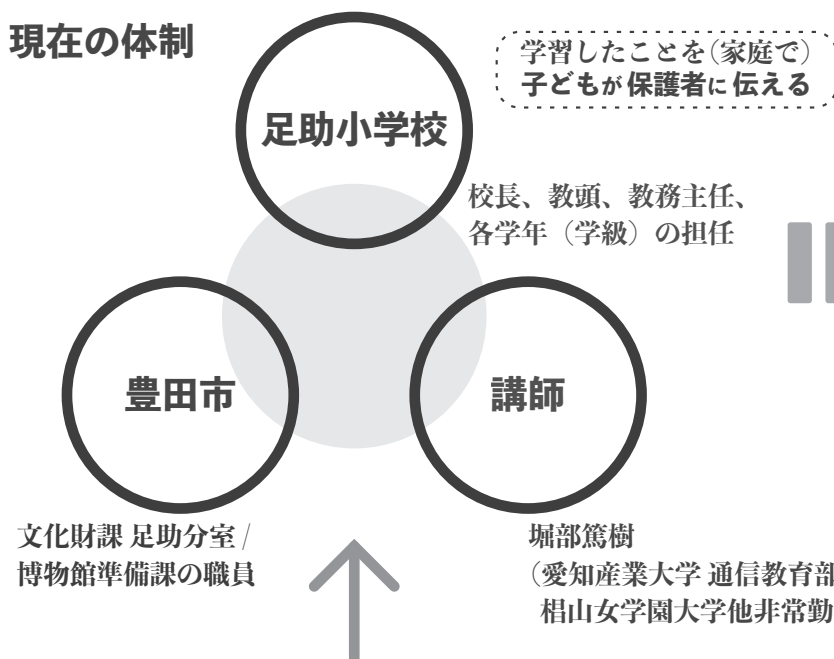


# 豊田市足助「重伝建の町並み」を活用した郷土学習 の継続的な取り組み



豊田市足助の町並みが、平成 23 年 6 月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、将来の町並み保存やまちづくりの担い手である地元の子どもたちに、郷土の歴史や町並み保存に対する理解を深めてほしい、という思いから平成 25 年に始まりました。今年度で 11 年目を迎えています。平成 25 年度から平成 27 年度にかけて、豊田市が名古屋市立大学芸術工学部鈴木賢一研究室に体験型ワークショップの運営及びプログラムの作成を委託し、実践。平成 28 年度からは、豊田市と講師が継続的に足助小学校の郷土学習を支援しています。足助小学校では、年間スケジュールに位置付けられました。小学校の教員や市の職員が異動しても、継続できる運営体制もできました。一昨年度から、足助中学校や愛知県立足助高等学校にも展開し始めています。次の 10 年を目標に、持続可能な活動にしたいと思っています。

## 現在の体制



## 今後の展開

この豊田市足助「重伝建の町並み」を活用した郷土学習は、令和 3 年度から（重伝建地区選定 10 周年をキッカケに）

### 足助中学校、足助高等学校

にも展開し始めました。

次の 10 年（選定 20 周年）に向けて、学校と豊田市・講師、小・中・高の連携を少しずつ深めて行きたいと思えます。

## サポート

足助町並みサポーター、足助小学校スクールサポーター、大学生（椋山女学園大学他）、足助観光協会、重伝建地区選定 10 周年事業実行委員会、足助のみなさん

# スタンプラリー「足助のまちをしらべよっ！」



まちの中でスタンプを集め、7個集めたら学校に

対象：小学2年生

教科：生活科

時間：2時限目～4時限目

内容：3～5人のグループに分かれ、まちの中でスタンプを集めながら、クイズの答えを探し、まちで楽しみ、まちと親しむプログラム。子どもが安全に活動できるように、大人がサポートに1～2名入ります。



指令書をさげて学校を出発!



「早くスタンプ押しっ！」



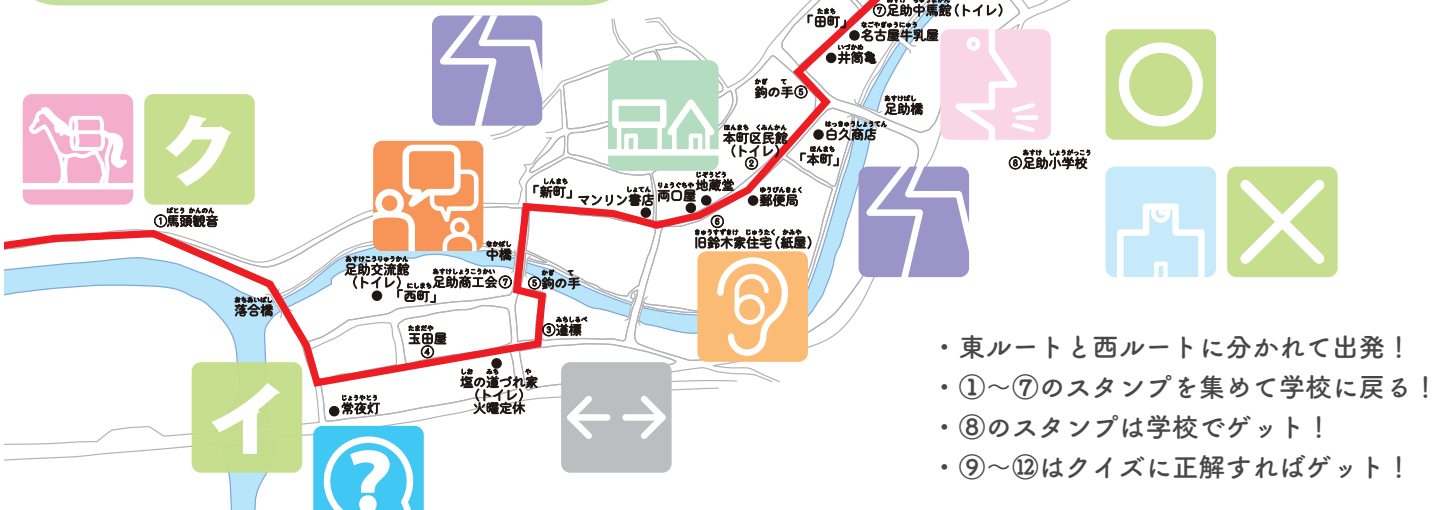
⑦足助中馬館で質問中



「あ、①瓦屋あったー！」

## 指令書 (スタンプラリーのカード)

<p>ミッション</p> <h3>指! 令</h3> <p>足助のまちをしらべよっ</p> <p>あなたは、 どれだけのスタンプを あつめられるかっ?</p>	<p>① ② ③ ④</p> <p>⑤ ⑥ ⑦ ⑧</p> <p>⑨ ⑩ ⑪ ⑫</p>
表	内側



- ・東ルートと西ルートに分かれて出発!
- ・①～⑦のスタンプを集めて学校に戻る!
- ・⑧のスタンプは学校でゲット!
- ・⑨～⑫はクイズに正解すればゲット!



クイズの答えを相談中



修理中の⑥紙屋を特別見学



「あれえ、ここどこ？」



学校に戻って答え合わせ



# 「生きるために身を守る 昔の道具と建物の工夫」



昔の火消し道具について、文化財課（左）や博物館準備課（右）の職員から説明（中央は担任）



火事からまちを守る昔の建物の工夫をまちの中で解説

**対象：小学4年生**

**教科：総合的な学習の時間（防災）**

**時間：2時限目～4時限目**

**内容：学校で、昔の暮らし、火事や災害についてスライドでレクチャーした後、昔の火消し道具を体験します。**

**その後、まちに出掛けて、建物の工夫や、今の取り組みについて解説します。**



火事からまちを守る今の取組（水道式消火機器）を体験中



鳶口（左）、サイレン（右）などの火消し道具を体験中



（修理現場で）龍吐水を体験



まちを守る今の取組を説明



# 「重伝建の「足助の町並み」を守るために」



ブレインストーミング「足助のためにできることを考えよう」(令和2年11月)



重伝建地区選定10周年事業の実行委員に(令和3年1月)

**対象：小学6年生**

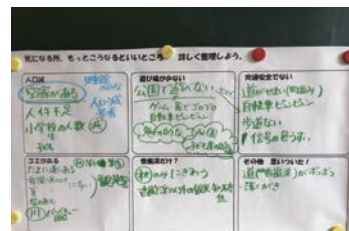
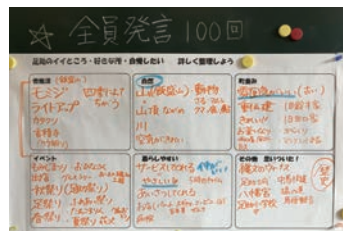
**教科：総合的な学習の時間（歴史）**

**時間：随時（担任の思いや進み具合に合わせて）**

**内容：総合のテーマに合わせ、令和元年度までは児童それぞれが興味に思った事柄を調べる学習でした。令和2年度からは、足助の町並みに関して大人たちに提案する方向に転換しています。学習課題に合わせ、担任と市職員・講師が一緒になって進めています。**



紙屋旧鈴木家住宅の修理現場を見学(令和4年5月)



これまでの学習で出た意見(令和3年1月)



町並みや萬屋旧田口家住宅を見学(令和4年5月)